

地域住民の交流の輪を広げる

本郷北・坂上・石田地区コミュニティまつり

2月4日から2月18日にかけての日曜日に、本郷北・坂上・石田地区のコミュニティセンターでそれぞれの地区のコミュニティまつりが開催されました。天候にも恵まれ、多くの人でにぎわいました。会場では、愛好者たちによる舞踏やカラオケの発表、世代間による輪投げ等が催されました。また、わたあめや焼きそばなどの売店には多くの人たちが列を作り、手づくりのまつりの中で、地域の交流を深めました。



わたあめをハイどうぞ（本郷北コミュニティ）



輪投げ大会（坂上コミュニティ）



詩吟を披露する会員たち（石田コミュニティ）



郡つなぐ最後のタスキ

第48回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会

1月28日(日)、県庁から栃木市総合運動公園を往復する60kmのコースで、栃木県郡市町対抗駅伝競走大会が行われました。

河内郡チームは今回が最後の編成となり、町内から伊藤真実さん(三村)、宇津木宗光さん(西汗上西)、長澤圭祐さん(愛宕町)、上野大地さん(上蒲生北部)、川上直美さん(天神町)、石浜悠志さん(西汗上西)、

渡辺葉月さん(下町5区)、海老原理恵さん(坂上本田)、上野雄都さん(上蒲生北部)、川島悠輔さん(坂上河原)、田崎幸治さん(下町3区)の11人が代表に選ばれました。

河内庁舎で行われた激励会で、チームの宇津木キャプテンは、「郡で出場する最後の大会なので、精一杯頑張ります。」と意気込みを語ってくれました。

レースは昨年のタイムを上回る成績で、郡でつなぐ最後のタスキに華を添えました。



一区を走る伊藤さん(No.14)



タスキリレーをする河内郡チーム



追いつける長澤さん

がんばる心はつぶれへん！

阪神大震災を忘れないコンサート

1月17日(水)、『むかしなつかし館』で「こんぺいとう」が『阪神大震災を忘れないコンサート』を開きました。

阪神大震災から12年が過ぎ、震災で亡くなられた人に対し、追悼の意を込めて10曲披露されました。

ボーカルの秋山幸さんは兵庫県出身で、「多くの友人が震災で被害に遭いました。1月17日は決して忘れることのできない日です。毎年続けることで、皆さんにこの気持ちを伝えたい。」と話していました。



多くの人たちが聞き入った「こんぺいとう」のコンサート



餃子を食べる児童とニラを生産した上野さん(右側)

上三川産ニラをみんなでおいしく食べてね！

明治南小学校で生産者と児童が給食交流

1月22日から26日は全国学校給食週間でした。22日(月)には、上三川町・栃木県の地場産物を多く取り入れた給食として、上三川産コシヒカリの米飯をはじめ、上野實さん(城台)の生産したニラ、栃木県産の小麦粉、ネギを使用した餃子、納豆、干瓢のごまあえ、なめこ汁が出されました。

当日は、明治南小学校で上野さんから「ニラ」についてのお話を伺ったあと、会食し交流を深めました。

男女共同参画社会実現にむけて

「みんなのつどい」開催

2月11日(日)、「第22回みんなのつどい」が、中央公民館で開催されました。

今回は、活動報告、研修報告の後に消費者友の会による寸劇が披露され、時折会場の笑いを誘いながら分かりやすく悪徳商法防止を呼びかけました。

また、男女共同参画講演では「パワフル 前向き 人生の達人」と題して、青野輝子さんが講演され、豊富な人生経験を交えた親しみやすい話に、訪れた人たちは聞き入っていました。



記念講演を行う青野輝子さん



最優秀賞に輝いた上野紗也加さん

標語コンクールで上野紗也加さんが最優秀賞

2月2日(金)、栃木県教育会館で昨年の夏休みに募集が行われた「朝食を毎日食べようキャンペーン」表彰式が行われ、坂上小学校4年生上野紗也加さん(坂上本田)の標語「朝ごはん ゆげのむこうに 家族の笑顔」が啓発標語部門で最優秀賞に輝きました。

最優秀賞に輝いた作品は、栃木県内の各学校の給食だより等に掲載され、児童生徒の朝食摂取啓発に活用されます。